

Sep.2019

広報にらさき

Nirasaki 9

Vol.860

ものづくりのまち・萑崎
ぼくらのまちは、想像以上。

ニラサキオープンファクトリー2019
(P15まちかどトピックス)



特集

星降る中部高地の縄文世界

— 葦崎で日本遺産に触れる —

2018年5月、山梨県・長野県の両県にまたがる縄文時代の遺跡や出土品が日本遺産に認定されました。その中には、葦崎市から発見された縄文人の息吹の伝わってくる土器や土偶なども構成文化財として、『星降る中部高地の縄文世界』のストーリーに組み込まれています。身近にある縄文世界を体感してみませんか。

（日本遺産とは）

地域の歴史的魅力や特色から生み出されたストーリーを地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信しつつ、地域の活性化を図ることを目的につくられたものです。

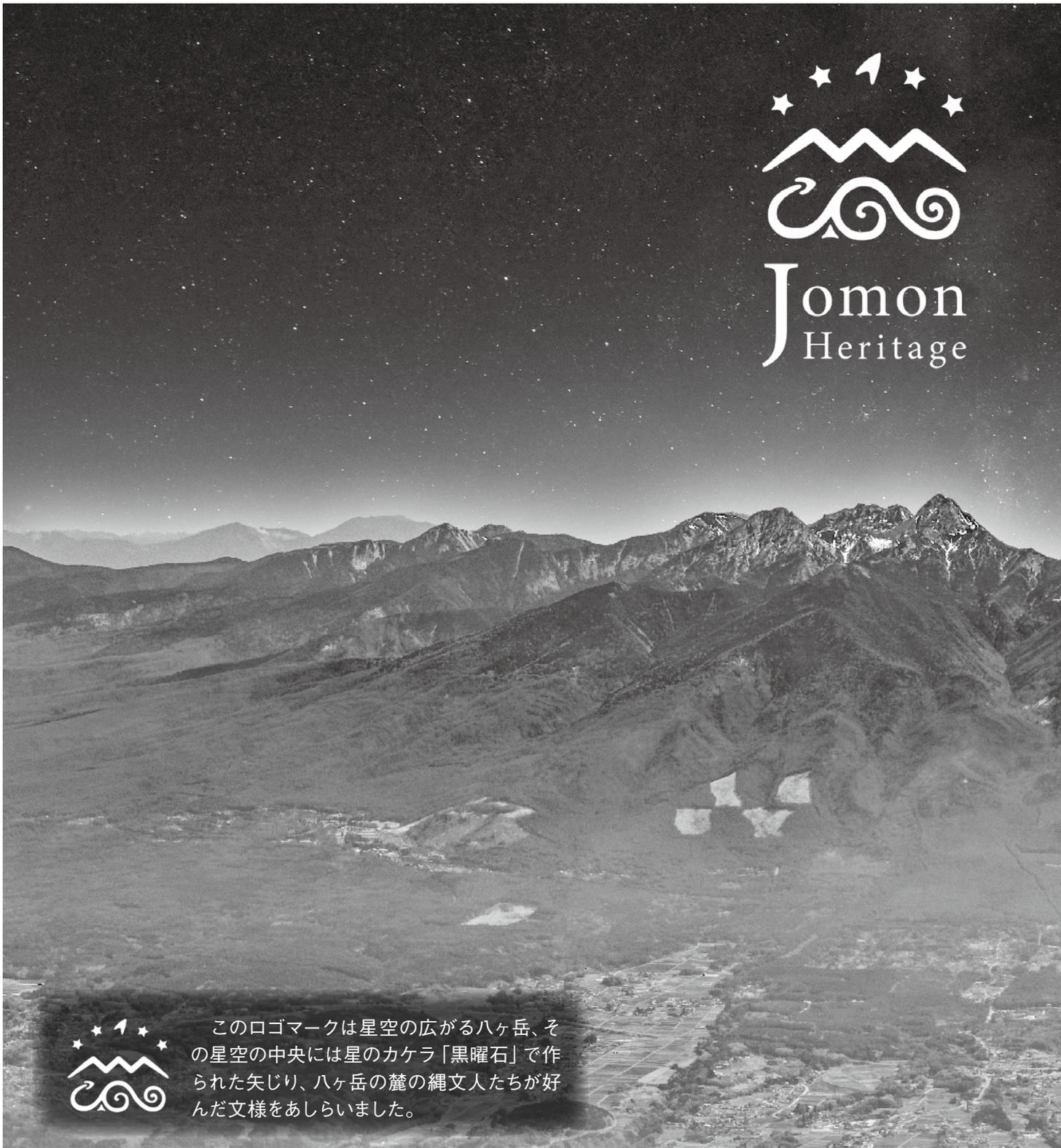
数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅

山梨県と長野県にまたがる八ヶ岳の北麓には本州最大の黒曜石原産地遺跡があります。黒く輝く黒曜石は、石器を製作する代表的な材料として利用されてきました。黒曜石は星笠峠、星ヶ塔、星ヶ台など星の名がつく高原地帯で数多く発見されています。足元でキラキラ光る黒曜石のかげらを、地元の人たちが空から降ってきた星のかげらと信じたことからこうした地名が生まれたと伝えられています。

掘り出された黒曜石は、各地の縄文人の住むムラへと運ばれ、大切に利用されました。黒曜石が運ばれることで、縄文人同士の出会いの場となり、交流のネットワークが結ばれていきました。



▲縄文人のしまった黒曜石のカケラ
（穂坂町女夫石遺跡）



このロゴマークは星空の広がる八ヶ岳、その星空の中央には星のカケラ「黒曜石」で作られた矢じり、八ヶ岳の麓の縄文人たちが好んだ文様をあしらいました。



縄文ムラには竪穴住居が立ち並び、ムラでの生活の中では土偶を用いた祈りが捧げられてきました。土器に付けられた動物や人の顔のような文様は、文字をもたない縄文人が伝えたかった彼らの世界観を物語っています。

中部高地には豊かな自然が変わらずに残されており、今もその自然とともに人びとが生活しています。縄文人が黒曜石を運んだ道をたどり、山麓にある縄文のムラの跡を訪ね、そこからの景観を望み、彼らの作った土器や土偶などに触れることで、雄大な自然とともに生きた縄文人の息遣いを感じることができるとでしょう。

胸の奥底にしまわれて忘れ去られた遠い記憶や自然とともにあった日本文化の源流にタイムスリップしてみよう。

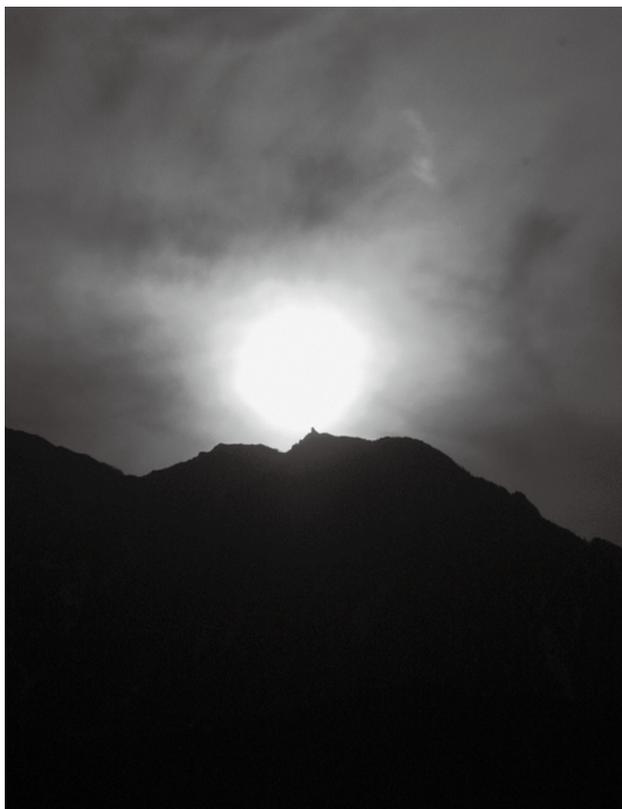
日本遺産に認定された葦崎の縄文世界

日本遺産の一翼を担う葦崎からは、鳳凰三山などの秀麗な山々を望め、七里岩台地をはじめとして太古からの景観が色濃く残っています。太古から現在まで続く魅惑的な大地を舞台にして縄文ムラが営まれていました。そこにはもちろん黒曜石が運ばれ、表現力豊かな縄文土器や命を宿した姿である土偶が作られ、誕生と成長への祈りが捧げられていました。それらに触れることで、縄文人の世界に思いを馳せることができるとともに、その世界観が現在に通じていることを実感することができます。

土偶と日没シヨ

穂坂の女夫石遺跡では大地から突き出た巨大な岩の周りで土偶を使ったお祭りをしてきたようです。春分と秋分の日に地藏ヶ岳の巨岩に太陽が落ちるといふ日没シヨを見

ることができません。縄文人は太陽の動きや月の満ち欠けに対して何か特別な思いを持っていたと想定される遺跡が女夫石遺跡以外にも発見されています。再生の象徴である日没、それが一年の中で特別な日に、



▲地藏ヶ岳の春分秋分の日の日没シヨ

象徴的な山の頂に落ちる風景と命を宿した姿の土偶が大量に出土したことは、偶然という一言で片づけるべきでなく縄文人の「いのち」に対する畏敬の念を読み取るべきでしょう。



▲女夫石遺跡から出土した大量の土偶

土偶グランプリ 第2位のミス石之坪

「スベスベのお肌で、とってもきれいでカワイイ」この土偶を見学した方が発した言葉です。そのとおり、美土偶グランプリで全国第2位を勝ち取った土偶なのです。しかし、魅力は見た目の美しさだけではありません。この土偶は貯蔵穴の底から食料加工具といわれている石器とともに埋められていました。「いのち」をつむぐ食料を貯蔵する穴・食料加工具と「いのち」を宿した土偶を、縄文人はどんな思いをこめて埋めたのでしょうか。



▲美土偶(円野町石之坪遺跡)

盛り過ぎの縄文土器たち

縄文土器を見るとゴテゴテして使い勝手が悪そうだと感じませんか。しかし、そこに縄文人の世界観が詰まっ

ています。へび、イノシシ、フクロウ、さらには得体のしれない抽象化された文様は機能面からは無用の長物ですが、縄文人はそこに力をこめてしています。合理性の追求とは違う大切なものが存在したことを伝えてくれています。



▲フクロウ文様(女夫石遺跡)

「星降る中部高地の縄文世界」の主役は?

世界遺産や指定文化財が保存に重点が置かれていることと対して、日本遺産は活用に重きが置かれています。楽しみながら自由な発想で活用することが求められています。そうすることで、葦崎をはじめとする「星降る中部高地の縄文世界」がさらに輝きを増すはずです。日本遺産となつた素材で活用への取り組みをしてみませんか?

▶三角頭のへび文様(石之坪遺跡)

◎ 葦崎の縄文世界にハマった人たち ◎

「縄文にハマる人々」という映画が全国ロードショーされましたが、葦崎市にも縄文世界にハマった方々があります。その中の2人を紹介します。



志村 滝蔵

全国的にも有名な坂井遺跡の発掘調査を行い、坂井考古館という博物館を建設した人物です。山梨県における考古学研究の先駆けとなった方です。家業の養蚕に精を出しながら坂井遺跡の発掘に取り組みました。仕事と学問の両立を一流のレベルで成し遂げた点では生涯学習の先駆者ともいえます。

滝蔵の作った考古館はいまなお輝きを失うことなく、次世代に受け継がれています。



▲坂井遺跡で発掘する志村滝蔵



三枝 善衛

東京国立博物館に収蔵されている穂坂の飯米場遺跡^{ほんまいば}の出土品は、その調査に深く関わった三枝善衛にゆかりの深いものばかりです。中でも顔面把手と呼ばれている土器の縁に付けられた顔は、愛嬌があり、「芸術は爆発だ」や太陽の塔の制作者として著名な岡本太郎が自ら写真を撮影した一つとして有名です。昨年、東京国立博物館で開催された『縄文 一万年の美の鼓動』でも展示され、様々なグッズが作られました。

善衛がハマったからこそ、私たちは飯米場遺跡の縄文世界の美を目にすることができるといっても過言ではありません。

葦崎市制施行65周年記念事業「いのち～絵画と原始造形的美～」



星降る中部高地の縄文人たちは「いのち」の躍動を表現した母なる土偶や森に潜む動物や精霊をモチーフとする造形の優れた原始美術を作り上げてきました。それから約5000年の月日が流れた現代においても「いのち」に対する思いは現代美術の中で表現されています。

葦崎大村美術館で体感する縄文時代と現代の「いのち」

縄文の美と現代の美から、今一度「いのち」とは何かを共に考えるきっかけになればという思いから、葦崎大村美術館で企画展を開催します。

■開催期間 9月1日(日)～12月1日(日)

■開催時間 10時～18時
(入館は閉館30分前まで)

※11月からは17時閉館

※初日の9月1日は13時開館

葦崎の縄文文化を体感できるイベント予定

- 休館日 毎週水曜日
- 入館料 一般 500円
小中高生 200円
- ※市内に在住・在学の小中高生は無料
- ※障害者手帳をご持参の方は本人と介助者1名無料

● ギャラリートーク

(9月1日、10月26日)

・葦崎大村美術館

● 親子ふれあい教室体験

(9月14日・螢雪寮)

● ナイトミュージアム

(9月21日・葦崎大村美術館)

● 縄文FES

「山梨縄文まつり」

(10月27日)

・甲府よっちゃばれ広場

● なら歩歩クラブ

縄文風子ども手形

(11月6日)

・葦崎民俗資料館

● 生涯学習フェスタ

「縄文土器作り作品展」

(11月9日、10日・東京エレクトロン葦崎文化ホール)

・クトロニ葦崎文化ホール

■ 問い合わせ

教育課文化財担当

(内線269・270)

— 姉妹都市高校生ホームステイ事業 —

フェアフィールド市 × 韮崎市

僕らの友情は国境を越える！



韮崎市と姉妹都市であるアメリカカリフォルニア州フェアフィールド市とは、昭和63年から学生の相互派遣交流を行っています。

今年も7月9日から29日までの3週間、7名の中高校生たちが市内の家庭にホームステイをしながら、学校訪問、陶芸体験、桃狩り、県外研修旅行等を行い、多くの方と交流を深めました。

学生たちは日本の文化や歴史に対し興味を持って熱心に学び、特に学校訪問では、同世代の日本の学生たちとの交流を楽しんでいる姿がとても印象的でした。

学生たちに韮崎市の印象を聞くと、「すべての人があたたかく、緑の美しいまち」と答えてくれました。



▶ 桃狩り体験 (7月23日)

◀ 富士急ハイランド (7月24日)



彼らにとって初めてのホームステイで、不安なこともあったと思いますが、ホストファミリーの皆さんをはじめ、訪問先の皆さんのあたたかさに触れ、言葉や文化の壁を越えて心通わすことができた様子でした。

最後のお別れの日にみんなで流した涙は、韮崎市で過ごした3週間がかけがえのない時間となったことを物語り、いつかまた、お互いに会えることを願って帰国していきました。

学生たちをはじめ、この事業に携わった皆さんが、将来日本とアメリカをつなぐ架け橋となつて活躍してくれることを期待しています。

ホームステイの感想

(※抜粋)



カーリー・デニンソンさん

東京や広島・奈良への旅行、ものづくり体験、どれもが楽しかったです。みんなが親切で親しみやすく、景色もとても印象に残りました。特に、蕪崎の学校での交流はとても素晴らしいです。大好きな蕪崎をまた訪れたいです。

ホストファミリーは、いろいろな場所や食べ物などたくさん経験させてくれて、とてもよくしてくれました。ホームステイ中、私は家族の一員であるように感じました。一緒に過ごせて幸せでした。



レイヴイン・ハートローさん

蕪崎の景色、人々、まちなみ、すべてが素晴らしいかったです。市内の学生たちとの交流は言葉の壁を感じなかったです。また、京都・広島旅行も楽しかったです。

アメリカの友達や家族とまた来たいです。ホストファミリーにも恵まれ、幸運でした。たくさんの方々に会って行ってくれ、家族の一員のように感じました。みんなと離れるのがとても寂しいです。



エマ・ナッコさん

このホームステイでは素晴らしい経験ができました。蕪崎はみんなとても親切で、美しい景色のまちです。蕪崎にも日本にもまだ経験したいことがたくさんあります。

ホストファミリーはとても親切に受け入れてくれました。多少の言葉の壁はあったかもしれませんが、私を家族の一員のように扱ってくれました。絶対すぐにまた会いたくなくとも思います。



シレヤ・シングさん

広島・京都旅行もすごく楽しかったけれど、できればもっとホストファミリーと一緒に時間を過ごしたかったです。私を理解して受け入れてくれ、言葉の壁はありませんでした。ホストファミリーがとても大好きです！私の人生にとって、とても良い経験になりました。



イザイア・マカラーさん

この交流は私の人生の中で一番素晴らしいものでした。この経験を何と表現したらいいかわかりません。美しい景色、心があたたかい人々、蕪崎は素晴らしいまちです。

ホストファミリーともっと過ごしたかったです。私にとって特別な存在になりました。私は彼らを忘れません。「わたしはかぞくをあいしています！」



ニコラス・デイポールさん

日本文化に触れ、日本食を食べたことは素晴らしい経験でした。蕪崎は、みんなとても素敵な人ばかりで、美しくきれいな景色が印象に残っています。親しみやすいまちでした。私のホストファミリーは素晴らしく、家族の一員のように接してくれました。とても親切なホストファミリーのことが大好きです。もっと長く一緒に過ごしたかったです。



ジョアン・パーカーさん(引率者)

蕪崎は若者をあたたかく思いやる素敵なまちです。蕪崎の教育環境の素晴らしさは印象的です。学生を豊かに育てる様子に感銘を受けました。

ホストファミリーは私を家族の一員として迎え入れてくれました。とても親切で、私の日本語に忍耐強く付き合ってくれたので、私たちは素晴らしい話ができました。

米国カリフォルニア州
フェアフィールド市
へ行くこう！



姉妹都市フェアフィールド市との交流を深めるとともに、一般家庭へのホームステイを通じて、様々な人と接することにより、国際的な感覚を持った人材を育成するため、市内在住の中学生・高校生を対象に、フェアフィールド市への派遣学生を募集します。

■ホームステイ期間
12月14日(土)～
令和2年1月3日(金)

《21日間※変更の場合あり》
■募集人員
中・高校生6名《予定》

■募集締切
9月13日(金)まで

■申込方法
応募用紙と自己PRシートを提出

※後日、面接試験を行い派遣者を決定します。

※応募用紙・自己PRシートは、HPもしくは総合政策課で配布しています。

■参加者負担金
17万円程度(昨年実績)

■申込み・問い合わせ
国際交流実行委員会

(総合政策課 政策推進担当)
(内線357)



令和2年度入学予定児童対象

就学時健康診断を実施します

■対象 令和2年4月に小学校入学の児童（平成25年4月2日～平成26年4月1日生まれ）※小学校区ごとに実施します。

■実施場所 東京エレクトロン荻崎文化ホール（荻崎市藤井町坂井205番地）

■通知および必要書類

対象児童の保護者の方には、9月上旬に通知と必要書類を送付します。必要事項を記入いただき、通知に記載されている日時に受診してください。健康診断実施日の2週間前までに通知が届いていない場合は、教育課学校教育担当まで連絡をお願いします。



■お願い

会場の混雑を避けるため、受付時間を2グループに分けます。通知に記載されている受付時間帯にお越しください。

■問い合わせ

教育課 学校教育担当
（内線265）

■健康診断日程

小学校区	日程および実施時間		検査項目
荻崎	10月9日 (水)	受付時間 Aグループ 13時15分～ Bグループ 13時45分～	内科・眼科・ 歯科・視力・ 聴力・言語・ 知能検査等
荻崎北東			
穂坂	10月10日 (木)	健診実施時間 13時30分～15時30分	
荻崎北西			
甘利			

救急時の準備はできていますか？



9月9日は救急の日です。救急時の準備はできていますか？市では、救急時安心情報キットを一人暮らしの方を対象に無料で配布しています。

救急時安心情報キットとは「普段通っている病院」や「緊急連絡先」などの情報を専用の容器に入れ、各家庭の冷蔵庫に保管するものです。

これにより、病气やけがなどで救急隊員が駆けつけた時に容器の中を確認して、病院への速やかな情報伝達、搬送につなげることができます。ぜひ、ご活用ください。



■対象者

65歳以上の一人暮らしの方等

■問い合わせ

長寿介護課 介護支援担当
☎23-4313



・その他
助成金の申請は、受験したとき1回のみ助成



※生徒1人について、受験した年度内で1等級につき1回のみ助成

■助成金額 日本英語検定協会が定める検定料の全額

■対象検定 実用英語技能検定（英検）の3級以上

■対象者 荻崎市立中学校に在籍している生徒の保護者 ※市に納付すべき市税等を滞納している者を除く。

市では、中学生の英語力と学習意欲向上を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、本年度より英語検定料の助成をしています。

■対象者 荻崎市立中学校に在籍している生徒の保護者 ※市に納付すべき市税等を滞納している者を除く。

荻崎市中学生英語検定料助成のご案内

■問い合わせ
教育課 学校教育担当
（内線264）

申請書類は教育課学校教育担当へ提出してください。申請書受理後、助成金交付の可否を決定し、申請者に通知します。

日の属する年度の3月31日までに提出してください。

申請に必要な書類は、助成金交付申請書、受験の証明書（受験者、受験級および検定料が確認できるもの）になります。申請書類は、教育課学校教育担当および市ホームページから入手できます。

申請書類は教育課学校教育担当へ提出してください。

申請に必要な書類は、助成金交付申請書、受験の証明書（受験者、受験級および検定料が確認できるもの）になります。申請書類は、教育課学校教育担当および市ホームページから入手できます。

■問い合わせ
健康づくり課 健康増進担当
（保健福祉センター内）
☎23-4310

日本脳炎の予防接種は、平成17年度から平成21年度まで積極的な勧奨を差し控えていましたが、新たなワクチンが開発され、現在では通常通り受けられるようになりました。これにより平成7～18年度に生まれの方は日本脳炎の予防接種を受けていない場合があります。接種を希望される方は、母子健康手帳等をご確認いただき、健康づくり課へお問い合わせください。

また、通常、日本脳炎第2期の対象は9歳以上13歳未満の方です。今年度9歳になる方に、順次予診票を郵送していますので、母子健康手帳をご確認のうえ接種をお願いします。

日本脳炎の予防接種は、平成17年度から平成21年度まで積極的な勧奨を差し控えていましたが、新たなワクチンが開発され、現在では通常通り受けられるようになりました。

これにより平成7～18年度に生まれの方は日本脳炎の予防接種を受けていない場合があります。接種を希望される方は、母子健康手帳等をご確認いただき、健康づくり課へお問い合わせください。

また、通常、日本脳炎第2期の対象は9歳以上13歳未満の方です。今年度9歳になる方に、順次予診票を郵送していますので、母子健康手帳をご確認のうえ接種をお願いします。

健康づくり課 健康増進担当
（保健福祉センター内）
☎23-4310

日本脳炎の予防接種は、平成17年度から平成21年度まで積極的な勧奨を差し控えていましたが、新たなワクチンが開発され、現在では通常通り受けられるようになりました。

これにより平成7～18年度に生まれの方は日本脳炎の予防接種を受けていない場合があります。接種を希望される方は、母子健康手帳等をご確認いただき、健康づくり課へお問い合わせください。

また、通常、日本脳炎第2期の対象は9歳以上13歳未満の方です。今年度9歳になる方に、順次予診票を郵送していますので、母子健康手帳をご確認のうえ接種をお願いします。



2019年10月1日、消費税の軽減税率制度がスタート
事業者の皆さん、仕入税額控除の方式が変わります！

**救える命を救うために
救急医療の適正利用を**

近年、救急車や救急病院を不適正に利用する人が増えています。

本当に救急医療を必要とする人のため、適正な利用にご協力ください。



■日頃の心がけ

- 昼間の診療時間内に受診しましょう
- 「かかりつけ医」を持ちましょう

■不適正な利用の例

- × 夜は空いているから
- × 日中は仕事で忙しいから
- × 救急車は早く病院に着けるから
- × タクシーはお金がかかるから



※本当に必要なときには、迷わず救急車・救急医療機関を利用しましょう

■夜間・休日の当番病院

夜間・休日は、当番病院へ電話をしてから受診してください。

○やまなし医療ネット

<https://www.yamanashi-iryo.net>

○峡北消防本部テレホンガイド

☎22-8181

○山梨県救急医療情報センター

☎055-224-4199

■問い合わせ

健康づくり課（保健福祉センター内）

☎23-4310

消費税・地方消費税の税率10%への引上げと同時に、飲食料品（酒類・外食を除く）と新聞（定期購読契約・週2回以上発行）に係る税率を8%とする「軽減税率制度」が実施されます。

新しい仕入税額控除の方式に対応するためには、帳簿・請求書・レシート等の記載を複数税率に対応させる必要があります。

書管理システムの導入・改修について補助金を設けるなどの支援を行っています。ぜひご活用ください。

制度についての詳細は「軽減税率 国税庁」、補助金についての詳細は「軽減税率対策補助金」で検索してください。



- 問い合わせ
 ※受付時間：平日9時～17時
 〈制度について〉
 消費税軽減税率
 電話相談センター
 ☎0120・205・553
 ナビダイヤル
 ☎0570・030・456
 (ナビダイヤルは通話料がかかります)
 〈補助金について〉
 軽減税率対策補助金事務局
 ☎0120・398・111

楽しくもの忘れを予防しましょう！

「脳若返り教室」参加者大募集！



「脳若返り教室」は、タブレットを使った「もの忘れ予防」のための脳トレーニング教室です。視覚・聴覚・指先からの刺激で脳を活性化させ、もの忘れの予防を目指します。脳若返り教室で、脳と体と心の健康を保ちましょう。

■内 容 タブレットを使った脳のトレーニング
 ※タブレットの使い方教室ではありません。

■対象者 市内に住所がある65歳以上の方で、自身で教室へ通うことのできる方

■会 場 保健福祉センター

■定 員 20名（要申込み・先着順）

■参加費 無料

■持ち物 筆記用具・動きやすい服装・眼鏡等（必要な方のみ）

■申込み・問い合わせ

もの忘れ相談センター（保健福祉センター内）

☎23-4464 ☎23-4316



【脳若返り教室後半コース日程】

回数	日程
1	10月11日（金）
2	10月25日（金）
3	11月 8日（金）
4	11月22日（金）
5	12月 6日（金）
6	12月20日（金）
7	1月10日（金）
8	1月24日（金）
9	2月 7日（金）
10	2月21日（金）
11	3月 6日（金）
12	3月19日（木）

10時～11時30分
 (9時30分から受付)

※12回目のみ木曜日の開催となります。

生活環境の向上と水質保全のために

下水道への接続にご協力を!!

市では、皆さんが快適な暮らしができるよう、下水道整備を進めています。下水道が使えるようになった区域（処理区域）にお住まいの方は、法律により下水道に接続しなければなりません。

生活環境の向上、河川等の水質保全のためにも、下水道への接続にご理解とご協力をお願いします。

宅内排水設備接続の方法

下水道に接続する宅内工事については、市が指定した「排水設備指定工事店」にお申込みください。指定工事店は市に提出する必要書類の作成、届出などの手続きを代行します。指定工事店の一覧は、下水道担当および市ホームページでご確認ください。なお、事業費は個人負担となります。

各種補助事業のご活用を

●排水設備工事融資あっせん
①融資あっせん額

排水設備工事資金100万円以内

生活環境の向上と水質保全のために

②利子補給
市が3%以内の利子補給

③償還方法

融資を受けた日から3年以内毎月元金均等償還

④融資あっせん条件

※処理区域内に居住していること。

※市税および受益者負担金を滞納していないこと。

●下水道排水設備設置費補助金

■対象 下水道処理区域内において平成13年4月1日以降に設置届を提出し、合併処理浄化槽を設置した方で、下水道排水設備工事を実施する一般家庭

■補助額 【表1】のとおり

【表1】下水道排水設備設置費補助金 (一般家庭用のみ)

接続時期	補助金額
処理区域公示から1年以内 (H31年4月供用開始)	8万円
処理区域公示から2年以内 (H30年4月供用開始)	5万円
処理区域公示から3年以内 (H29年4月供用開始)	3万円

生活環境の向上と水質保全のために

下水道使用料について

下水道使用料は、原則的には水道水使用水量に基づいて決めますが、井戸水を使用している場合もありますので、【表2】により算定されます。

問い合わせ

下水道課 下水道担当
(内線613・614)

【表2】使用水量の決め方

使用状況	一般	営業
水道水のみを使用している場合	水道水使用水量	
井戸水のみを使用している場合	使用人員×8m ³ /月	量水器による計測量
水道水と井戸水を使用している場合	水道水使用水量 + 使用人員×4m ³ /月	水道水使用水量 + 量水器による計測量

9月10日は下水道の日

第34回下水道まつり

「下水道の日」の行事の1環として、毎年、下水道まつりを行っています。

どなたでも楽しみながら下水道のことが学べるように、たくさんの方の催し物が企画されていますので、ぜひご来場ください。



令和元年度 下水道排水設備工事責任技術者認定試験

下水道の排水設備工事を施工する指定工事店には、「下水道排水設備工事責任技術者」の資格を有する者の専属が必要です。この試験は、責任技術者としての技能を認定するものです。

- 講習会 10月29日(火)
- 試験日 11月24日(日)
- 会場

山梨県立男女共同参画推進センター(ぴゅあ総合)

■申込期間

9月18日(水)～10月9日(水)

※申込用紙は、市役所上下水道課下水道担当、県内4か所の浄化センターで配布

■申込み・問い合わせ

(公財)山梨県下水道公社事務局
(笛吹市石和町東油川字北畑417番地)

☎055-263-2738



■日時 9月7日(土) 10時～14時(雨天決行)

■催し物 下水道施設見学・水質実験・模擬店コーナー・おたのしみ抽選会など

■主催 山梨県・富士北麓流域下水道推進協議会・(公財)山梨県下水道公社

■会場・問い合わせ 峡東浄化センター (笛吹市石和町東油川字北畑417) ※駐車場あり

☎055・263・2738

蕪崎市立病院からお知らせ

蕪崎市立病院泌尿器科の外来診察日が増えます

10月から泌尿器科外来の診察日が第2・第4火曜日から毎週火曜日に変更になります。外来の診療予定については、下記の表をご覧ください。



■午前の診療

診療科	受付時間	診療時間	診療日				
			月	火	水	木	金
内科一般	8時30分～11時30分	9時から	●	●	●	●	●
内科(胆嚢・膵臓)	8時30分～11時		●	—	—	—	—
内科(呼吸器)	8時30分～11時		—	●	—	●	—
内科(消化管)	8時30分～11時		—	—	●	—	—
内科(肝臓)	8時30分～11時		—	—	—	—	●
内科(循環器)	8時30分～11時		●	—	—	—	—
外科	8時30分～11時30分		●	●	●	●	●
整形外科	8時30分～11時30分		●	●	●	●	●
眼科	8時30分～11時30分		●	●	●	—	●
小児科	8時30分～11時30分		●	●	●	●	●
泌尿器科	8時30分～11時30分※1		—	●※2	—	—	—

※1 泌尿器科を初診で受診される場合、診療時間の都合により受付は11時までとさせていただきます。

※2 泌尿器科は毎週火曜日の診療になります。

■午後の診療

診療科	受付時間	受付時間	診療日				
			月	火	水	木	金
内科(腎臓)	13時～16時	13時30分～16時30分	—	●	—	—	—
内科(呼吸器)	13時～16時	14時～16時30分	—	—	●	—	—
内科(循環器)	13時～16時	13時30分～16時30分	—	—	—	—	●
整形外科(リウマチ) 【予約制】※3	13時～16時	13時30分～16時30分	—	—	—	●	—
整形外科(スポーツ)	13時30分～17時	14時～17時15分	—	—	—	●	—
脳神経外科	13時～16時	13時30分～16時30分	—	●	—	—	—
眼科【予約制】※3	—	14時～17時	—	—	—	●	—
小児科一般【予約制】※3	—	14時30分～15時30分	●	●	●	●	●
小児科一般	15時30分～16時	16時～16時30分	●	●	●	●	●
小児科(神経内科) 【予約制】※3	—	14時～17時	▲※4	—	—	—	—
小児科(循環器) 【予約制】※3	—	14時～17時	—	—	—	▲※4	—
小児科(乳児健診) 【予約制】※3	—	14時～17時	—	—	—	—	●

※3 【予約制】とある科は、予約なしで来院された場合は、基本的に診療をお受けできません。

※4 小児神経内科は、毎月第4火曜日、小児循環器内科は、毎月第1木曜日のみの診療となります。

市立病院運営協議会委員を募集します

市では蕪崎市立病院の経営状況等を検証のうえ、今後の病院運営について、市民の皆さんと協働で検討していくため、次のとおり協議会の委員を募集します。

■応募資格

- (1)市内に住所を有する20歳以上の方であること。
- (2)応募の日に本市の附属機関などの委員でないこと。
- (3)国や地方公共団体の議員または常勤職員でないこと。

■募集定員 3名程度(書類選考とさせていただきます、結果は通知します。)

■任期 委嘱の日から2年間

■内容 蕪崎市立病院運営協議会に委員として出席いただき、蕪崎市立病院の運営に対する意見や提言を述べていただきます。(年間1回または2回程度の開催を予定。協議会に出席いただいた際には、薄謝をお支払いします。)

■応募方法 次の書類を郵送(当日消印有効)、電子メールのいずれかで、9月27日(金)までに送付してください。

◇申込書(次の事項を記入)

住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、職業、勤務先名、『応募動機(400字程度)』

※申込書の様式はありませんが、記入漏れのないようお願いします。応募書類は返却しません。



■申込み・問い合わせ

蕪崎市立病院 事務局 総務担当 ☎22-1221
〒407-0024 蕪崎市本町3丁目5番3号
e-mail: hospital@city.nirasaki.lg.jp



「チーム葦崎」まちづくりミーティング テーマ「災害に強いまちづくり」

本市では「減災力の強いまちづくり協定」を締結して今年度で10年を迎えます。この間、地域減災リーダーの育成や減災フォーラムの開催など様々な取り組みを行ってきました。

近年、各地で地震や水害など突然の自然災害により甚大な被害が発生していますが、本市においても昭和34年には河川の氾濫により、大きな被害を受けました。今年は、大きな被害をもたらした台風7号や伊勢湾台風の発生から60年の節目の年でもあります。災害はいつ発生するかわからないため、日頃から備えておくことが重要です。

そこで今回は、消防団をはじめとした地域の防災・減災対策を担ってくれている皆さんにお集まりいただき、葦崎市第7次総合計画の「災害に強いまちづくり」を推進し、市民の皆さんが安全・安心に暮らせる強いまちの実現のためご意見をいただきました。

私たちが子育て世代はどうしても子育てや家事に追われ、減災・防災に対する意識が低くなりがちな世代かなと

松本 久美さん

葦崎市女性消防協力隊 隊長

幸い最近身近に災害がないですが、減災という意識が浸透してきていることは感じます。とにかく自助が大事。自助・共助、次に公助だということ、まず自分たちのことは自分たちで守るという意識を植え付けてきたのはかなり大きな実績だと思います。

また、以前までは行政が何とかしてくれるもんだという意識がすごく強かったですが、今は日頃から自分で考えておくものだという考えがかなり浸透してきています。災害がないことはいいことです、心構えと日頃の訓練は大切だと感じています。



水川 秋人さん

葦崎市自主防災組織 連絡協議会 会長

私が訪れた岡山県の真備町は葦崎と地形的にそっくりな場所です。山沿いの住宅地でも1階は水没し、避難しようにも猛烈な水流で外へ出ると



小林 兵武さん

災害ボランティア参加経験者



思っています。一方で、子どもや家族を守るためには私たちが自身が意識を高めることが必要だと感じたことが女性消防協力隊の発足につながっています。また、様々な理由で自治会に入っていない方もいらっしゃると思うのですが、そういった方はどこに助けを求めればいいのかわからないかと思えます。同じ世代だからこそ伝えられることがあると思うので、それを活動に活かしていければと思います。

ころではなく2階に逃げるしかなかったです。水の恐ろしさをボランティアではつくづく感じました。今の災害は私たちの想像以上です。実際の水害ではみんなが集まっても避難路が決められなかったそうです。水でどこが道かわからず判断できなくなりました。ですから早く集まると災害になる前に逃げるのが大切です。自分は大丈夫だと思いたがるんですがそんなことはないんです。

葦崎市社会福祉協議会

事務局長

大木 純さん



実際に昨年の7月に台風12号が発生した際に要配慮者のために避難所を開設しました。西日本豪雨災害があったことや事前に防災無線で福祉避難所の開設の情報が流れていたことから全部で16名の方が避難されました。防災訓練の経験から、訓練どおりに行うことができませんでした。物品は発電機や毛布など充

実していますが、訓練では食糧が課題となりました。市と連携して避難所運営をしたいです。

葦崎市民生委員

児童委員協議会 会長

一木 芳恵さん

昨年の台風12号の際、民生委員として雨が強くなる前に要配慮者の方の避難をと思い、何人かに声を掛け、避難を希望した2名を避難させました。雨風は強かったもののそれほど被害がなくよかったですが、避難された方は安心して過ごせたようです。今回は避難所へ避難してもらいましたが、地区でできる限りの備えもしています。地震の訓練が多かったですが、沢のある集落として水害に対する訓練も必要だと考えています。のでもっと充実させたいです。



葦崎市女性消防協力隊副隊長

永田 桃子さん

私は熊本の出身ですが、地元で大きな災害が起きたと

き、もしその場にいたらどうしていたらだろうと想像し、小さいわが子をどう守るべきか考えたのがきっかけで取り組みを始めました。どういう備えをしておけばいいかなどわからないことがあって不安に思っている方もいると思います。逆に、そこまで不安を感じていない方も多いのかなというところも感じています。で、そういう方たちに意識を持ってもらえよう活動ができたらと思っています。



甲府地方気象台 地域防災官

井口 泰志さん



気象情報は実況ではなく予想です。大気の状態が不安定なときは難しいですが台風はある程度予測できますので気象情報をもとに早めの判断を心がけてほしいと思います。

併せて、小さな川から大きな川まで危険の状態に応じて色分けして示した情報もあります。気象庁HPの洪水警報危険度分布というものでスマホをお持ちの方はGPSで位置情報を捕捉すると近くの川の状況もわかりますので、避難時には参考にしたいです。また、警戒レベルは参考情報ですが、プッシュ通知で送るようになっていきますので参考にして避難をしてください。

NPO法人

減災ネットやまなし理事長

向山 建生さん



雨がザーザー降ってからは防災無線も聞こえず手遅れになります。「空振りになっても構わないので、市には避難準備情報を明るいうちから早めに出してもらおう。そして、逃げ遅れになる前に避難行動要支援者を社協や病院に早めに搬送して自分たちも避難する。」これからはそのしくみをシンプルに作っていく必要

があると思いますので、自主防災組織が消防団などと連携してそこを強化していくことが大切だと考えています。

葦崎市消防団

団長

井出 秀美さん

減災フォーラム等は、全団員に出席を呼びかけるようにしています。減災リーダーについても取得者は82名で全体からすると少ないですが、中には救命救急士だけ持っている人もいるので併せて受講するよう取得を推進していきたいと思っています。

消防団では大雨時、警報が出たら集まって地域を巡回しています。警報が消えるまでは待機するようにしています。



熱い戦い、サッカーフェスティバル

韮崎市サッカー協会は、7月6、7日に中学生の部、13～15日に高校生の部、20、21日に小学生の部とそれぞれ県外からチームを招いて、第39回武田の里にらさきサッカーフェスティバルを開催しました。選手たちは日頃の練習の成果を発揮して勝利をつかむため、熱い戦いを繰り広げました。若い世代の選手たちがこれからの韮崎をサッカーのまちとして、さらに盛り上げていってくれることを期待しています。



激坂決戦・戦国ヒルクライム開催！

7月7日（日）、戦国ヒルクライム in 韮崎・甘利山が行われ、全国各地から319名のサイクリストが武田の里に集結しました。甘利山入口ゲートから広河原駐車場までの11.7km、平均勾配9.7%、標高差1,138mの全国屈指ともいわれる激坂コースを自転車で駆け上がり、男子総合1位（タイム：43分58秒）、女子総合1位（タイム：1時間1分55秒）に輝いた2名のほか、総合上位24位までのサイクリストに武田24将賞が授与されました。

市内中学校にご寄付いただきました

旭陽電気(株)様より韮崎東中学校に55型パブリックディスプレイおよび関連機器、韮崎西中学校にタブレット端末5台および関連機器をご寄付いただきました。金山雄一郎取締役は「寄付させていただくことは生徒のためにはもちろん、自社のモチベーションにもなっていることを実感している。こうした私たちの取り組みをきっかけに地元から優秀な人材が出てきてくれたらうれしい。」と寄付への思いをお話くださいました。



インターハイ出場校を激励！

7月16日（火）、7月24日から行われた「インターハイ・南部九州総体2019」に出場した韮崎高校サッカー部・女子バスケットボール部・山岳部、韮崎工業高校レスリング部の皆さんの激励会を実施しました。内藤市長より各部の部長に、それぞれの競技のユニフォームなどを着せたニーラのぬいぐるみと飲料水を贈呈しました。学生の皆さんの活躍をこれからも後押ししていきます。

車いすをご寄付いただきました

7月17日（水）、(株)介護センター花岡様より、車いす11台をご寄付いただきました。車いすは貸出用に使用していたもので、新しいものへの入替えに伴い、この度、市内の各公民館に1台ずついただくこととなりました。寄付にあたり、花岡剛成代表取締役からは「これまで高齢者の方が使っていたもので、捨てるにはもったいないもの。地域で役立ててほしい。今後も協力させていただきたい。」とごあいさついただきました。





ぼくらのまちは、想像以上。

7月26日(金)、27日(土)、蕪崎市商工会が中心となりニラサキオープンファクトリー2019を開催しました。このイベントは普段はなかなか入ることのできない市内の工場を訪問し、県内有数のものづくりのまち蕪崎で、ものづくりをより身近に感じてもらうことが目的です。26日、(株)ササキを訪れた親子等11名の参加者は、事業所見学ののち線材の加工作業を体験。参加した皆さんは真剣な表情でものづくりを体験しました。

にらちびフェスティバル2019開催!!

7月28日(日)、にらちびフェスティバルを開催しました。2回目となった今年は、昨年を引き続いて実施した市長とのじゃんけん大会や安藤あき & いいそなたろうによる音楽やトークのほか市制施行65周年を記念した光と映像で楽しむプロジェクトマップなど、ニコリ全館を使って子どもも大人も楽しめるイベントが開催され、たくさんの親子連れでにぎわっていました。



かかし看板が注意喚起

7月31日(水)、円野駐在所管内の円野町と清哲町の10名で構成される円野駐在所ふれあい連絡会(眞壁静夫代表)は円野町下円井地内に交通事故の注意喚起を促すための看板を会員である細田設備様の寄付により設置しました。「県道と農道の交差点で日頃から交通量も多い。自分たちにできることでみんなに気を付けていただき、事故が減ることを願っている。」と眞壁会長。地域のシンボルであるかかしをかたどった看板が地域の皆さんの安全を見守ります。



まちづくりに子どもたちの声を

8月2日(金)、こども(中学生)議会を開会しました。本市の将来を担う子どもたちが、より住みやすく快適なまちづくりを推進するため、学校環境についてはもちろん、地域での交流や地域の安全に関する質問のほか、様々な意見や提案がされました。この経験を通して中学生の皆さんがまちづくりや政治に今後も興味を持っていただければ幸いです。



相田みつをの世界に迫る

8月3日(土)、蕪崎市民交流センターニコリ・地下アートギャラリーにおいて市制施行65周年記念「相田みつを展～にんげんだもの～」のオープニングセレモニーを開催しました。ご協力いただいた相田みつを美術館の相田一人館長は「子どもから大人まで多くの方に見てほしい。」とあいさつされました。

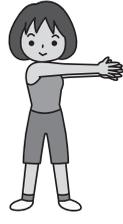
開催期間は9月16日(月・祝)までです。この機会に、命の詩人・相田みつをの世界をお楽しみください。



ニコリ主催
イベント
☎2211121



痛み解消・エゴスキュー体操
体の歪みを取り、様々な痛み（腰・ひざ・肩など）の解消に効果が期待できる体操です。



■日時 10月2・16・30日、11月13・27日、12月11日・25日（隔週水曜日全7回）
13時～14時30分

■場所 ニコリ3階
多目的ホール

■対象 20歳以上の男女

■参加費 14,000円
（7回分・テキスト代含む）

■持ち物 ヨガマット（バスタオルでも可）、飲料水、タオル

※運動のできる服装でお越しください。

■定員 20名
※最少催行人数5名

■講師 エゴスキュー・ジャパン協会認定Eサイズトレーナー
岩下 幸子先生

**シアバターで
しっとりハンドクリーム作り**
シアバターと良質な精油を使ってハンドクリームを作りましょう！

■日時 10月6日（日）
13時30分～15時

■場所 ニコリ1階
陶芸・工作室

■参加費 1,000円

■持ち物 筆記用具

■定員 20名
※最少催行人数5名

■講師 ブルーミング
アロマテラピースクール
主宰 神宮寺 育子先生

タイ料理教室
本格的なタイ料理を作ってみませんか？料理初心者も大歓迎です。



■日時 11月2日（土）
10時～13時

■場所 ニコリ1階調理室

■参加費 1,500円

■持ち物 エプロン、三角巾、ハンカチ

■定員 16名
※最少催行人数4名

■講師 Oriental
Kitchen
主宰 梅木 幸恵先生

■各講座の申込方法
ニコリ1階総合受付で申込書を記入し、参加費をお支払ください。

**大村記念
図書館**
☎2214946



「見つめてごらん、
本の星を」展示

9月12日は宇宙の日、13日は中秋の名月です。夜がだんだんと長くなるこの季節、星空を眺めるもよし、本を通して宇宙へ出かけるもよし。宇宙旅行気分が楽しめる本を集めて展示します。



■展示期間 8月31日（土）～9月26日（木）

おはなし会と折り紙遊び
（申込不要）
絵本の読み聞かせ、手遊び、折り紙作りなど

■日時 9月14日（土）
14時～15時

■対象 幼児～小学校低学年

朗読のつどい（無料）
9月は市外（あめんぼの会）・市内の朗読ボランティアグループの出演です。

■日時 9月21日（土）
14時～15時

■場所 ニコリ2階会議室9

■内容（作品名・朗読者）
「驟（ハシ）り雨」
藤沢 周平作
朗読 小田切初子氏

「パイプくわえて口笛吹けば」
五木 寛之作
朗読 依田 辰男氏

「蝉の声」
浅田 次郎作
朗読 中込 和代氏

「芝浜」
朗読 名取美津子氏
フラットホーム
連城三紀彦作
朗読 早川美智子氏

だっこの会（申込不要）
絵本の読み聞かせなど

■日時 9月26日（木）
11時～11時30分

■対象 乳幼児

中央公民館
☎2201115



**まなびサロンCOCOOつな
「じゃべらん会」（申込不要）**
楽しいおしゃべりができる
気軽な会です。家にこもりがちの方やお友達を作りたい方

など、どなたでも自由にお越しください。

■日時 9月12日（木）
13時30分～16時

■場所 ニコリ1階会議室1
（時間内出入り自由）

第2回「筆ペン講座」
「心に届く年賀状」
身近な筆ペンを使って、心に届くステキな年賀状を書いてみませんか。筆ペンが苦手な方も、ぜひご参加ください。



■日時 10月1・8日（火）
10時～12時

【2回講座】

■場所 ニコリ1階会議室5

■定員 20名

■持ち物 市販の筆ペン

■講師 書家 田中 志津氏

■申込み 9月3日（火）から

「タブレット初心者講座」
タブレットの基本操作や暮らしに役立つ便利で楽しいアプリの使い方を学んでみませんか。備え付けのタブレットを使用しますので、お持ちでない方もお気軽にご参加ください。

■日時 10月23・30日、
11月13・20日(水)

10時～12時
【4回講座】

■場所 ニコリ1階会議室8

■定員 18名

■教材費 1,404円

■使用機種 iPad pro

■講師 向山 幹夫先生

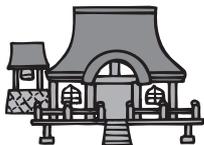
■申込み 9月3日(火)から

秋のCOCOOつなウォーク

「清哲を歩こう！」

～常光寺をたずねて～

県・市指定の文化財を守り歴史を伝える「常光寺」。偉人資料館で企画展示中の「貿易のパイオニア水上達三」の生家を巡り、清哲町内を散策します。ウォーキングを兼ねて地域を楽しく学びましょう。



■日時 10月25日(金)

10時30分～15時30分

■集合場所 ニコリ1階

総合受付前

■定員 15名

■持ち物 往復市民バス代・飲み物・昼食・歩ける服装

■申込み 9月3日(火)から

子育て支援センター

☎23-7676



ママ達のための

防災バッグ作り(要予約)

いざという時のために備えていますか？子育てで忙しいとつい後回しになってしまいますよね。大きな災害が続いている今、お子さんを守るために必要な物を一緒に知っておきませんか？避難時に役立つおんぶの体験も行います。

■日時 9月6日(金)

10時30分～11時30分

■場所 ニコリ1階(2階)

■対象 未就園児の親子10組

■参加費 200円

(防災グッズ代)

※防災バッグ作りはシミュレーションです。

多胎ちゃんママの会

(要予約・参加費無料)

ふたご・みつごちゃんの子育てのこと、ママ自身のこと、こんな時みんなはどうしてる？など、お茶を飲みながらおしゃべりしましょう。

■日時 9月18日(水)

13時～14時

■場所 ニら★ちび(2階)

■対象 0～3歳児のふたご・みつごの親子6組

ニコニコ食育講座

「簡単！手作りおやつ作り」

(要予約)

楽しいおやつ！ワクワクおやつ！一緒に手作りに挑戦してみませんか？簡単で子どももお手伝いできる内容です。お気軽にご参加ください。教室の時間は無料で託児を利用できます。



■日時 9月20日(金)

13時30分～15時

■場所 ニコリ1階調理室

■対象 1歳6か月以降のお子さんの保護者10名

■参加費 200円

■持ち物 エプロン・三角巾

・ハンカチ・筆記用具

■内容

・手作りおやつ作り

・「魅の黒糖フスフ」

・お手伝いポイントの確認

・ミニ座談会

・おやつ役割って？

■講師 葦崎市健康づくり課栄養士

※要予約イベントについては電話(「広報を見た」とお伝えください)またはHPでお申込みください。

知っ得！食育ひろば

「食改推の簡単レシピ」

栄養満点！旬の秋鮭を味わおう

「鮭とわかめの混ぜご飯」

ご存知ですか？

日本の食卓に欠かせない鮭。生活習慣病予防にオススメの食材といえます。捨てるところが少なく幅広く調理が楽しめます。

- ・身は、塩焼きや刺身・鍋物・ムニエル等
 - ・卵は、筋子・イクラ
 - ・頭や中骨は、汁物・アラ煮
 - ・皮は、塩焼き
 - ・内臓は、塩漬け
- 鮭の部位を生かした一品料理を作ってみてはいかがでしょうか？



【材料(2合分)】

- ・ご飯……………600g
- ・甘塩鮭……………2切れ(1切れ約70g)
- ・わかめ(乾燥)……………20g

【作り方】

- ①甘塩鮭は、焼いて骨・皮を取り細かくほぐす。
- ②乾燥わかめは水で戻しザルにあけ、お湯を回しかける。ペーパーで水気をとり、細かく刻む。
- ③炊きあがったごはん①②を混ぜ合わせる。

【栄養量(1人分)】

エネルギー 322kcal
食塩相当量 0.8g

【問い合わせ】

健康づくり課 健康増進担当
☎23-4310

環境・ゴミ

環境課よりお知らせ
蛍光灯・電池・鏡など

有害ごみの収集を行います

9月は各地区および拠点リサイクル会場で、蛍光灯や電池、水銀含有物等の有害ごみの収集を行います。次回は来年2月となりますので、この機会にお忘れのないように排出してください。

なお、割れた蛍光灯や電球(LEDを含む)・グローランプは、不燃ごみとして排出をお願いします。

収集場所や日程については、各戸配付してあります「ごみ・資源物収集日程表」をご覧ください。

電子タバコの廃棄方法

電子タバコに内蔵されているリチウムイオン電池は、有害ごみ(電池)に該当します。

電子タバコを廃棄する場合は、本体ごと有害ごみとして排出してください。

土地建物を適正に

管理しましょう

近年、雑草等が繁茂し、荒れてしまっている土地や建物が増えています。

そのような土地や建物は、

近隣者への迷惑になることはもとより、害虫の発生やごみの不法投棄場所にもなります。

また、倒壊や破損している建物は大変危険であり、人的被害の発生が危惧されます。

土地や建物の管理を適正に行い、住み良いまちづくりを心がけましょう！

問い合わせ

市民生活課 生活環境担当
(内線131・132)

相談

人権擁護委員(再任・新任)が委嘱されました

令和元年7月1日付けで、法務大臣より新たに3名が委嘱されました。荏苒市には8名の人権擁護委員がおり、いじめや虐待、家庭内や近隣とのめごと、プライバシーの侵害など、人権に関する相談に応じます。

人権擁護委員

田中 慶子氏(再任)

平賀 高茂氏(新任)

窪田 芳博氏(新任)

相談日時 10月10日(木)、12月4日(水)、令和2年2月5日(水)

いずれも10時~15時

※各月の情報カレンダーやホームページでもご確認いただけます。

場所 ニコリ1階 会議室

問い合わせ

総合政策課 政策推進担当
(内線357)

税理士の無料税金相談

東京地方税理士会甲府支部では、税理士の社会貢献活動の一環として、税金に関する無料相談会を実施します。

日時 10月3日(木)

13時~16時 ※予約不要

場所 市役所401会議室

相談内容 相続税、所得税および法人税等の相談

お問い合わせ

東京地方税理士会甲府支部
055・2333・1318

女性行政書士による女性のための無料相談会

日時 9月13日(金)

10時~16時

場所 ぴゅあ総合

2階 大研修室

相談内容

①相続、遺言、成年後見、離婚、農地関係 など

②法人関連手続き、各種許認可申請、外国人の在留資格取得など(②のみ予約制)

対象者 女性限定

申込み・問い合わせ

山梨県行政書士会
055・237・2601

行政書士無料相談会(申込不要)

日時 9月28日(土)

10時~16時

会場 ニコリ1階

会議室1・2

内容 遺言・相続手続き、営業許認可申請、農地転用、会社やNPO法人の設立、建設業許可申請、帰化・在留許可申請、成年後見、著作権等

相談員 山梨県行政書士会

甲府北支部会員

問い合わせ

山梨県行政書士会
055・237・2601

055・235・6837

甲府地方法務局よりお知らせ

①休日相談所(予約制・無料)

日時 10月6日(日)

10時~15時

場所 甲府合同庁舎2階会議室

内容 土地建物の登記、会社の登記、土地の境界問題、遺言、いじめ等の人権問題に関する相談

相談員 公証人、司法書士、土地家屋調査士、法務局職員

②相続セミナー(予約制・無料)

日時 10月6日(日)

午前の部 10時~11時30分

午後の部 13時~14時30分

場所 甲府合同庁舎2階会議室

内容

午前の部 「忘れていませんか?相続登記」

講師 司法書士

午後の部 「相続と遺言について」

講師 公証人

申込み・問い合わせ

甲府地方法務局総務課

055・252・7151

農業

農業委員会よりお知らせ

農地の利用状況調査を9月から行います

農業委員会は遊休農地などの実態を把握し農地の有効利用を図るため、農地利用状況調査を毎年実施しています。

調査は地域の農業委員・農地利用最適化推進委員が行います。

農地への立ち入りや聞き取りなどの際には、ご理解とご協力をお願いします。

この調査で見つかった遊休農地の所有者に対しては、貸付希望や耕作予定等、利用意向調査を実施します。

この機会に農地の管理状況

が適正か確認してください。
遊休農地が発生すると、その農地だけでなく周辺農地や、近隣住民の生活環境の悪化につながります。

遊休農地に対する課税強化

農業委員会が、農地所有者に対し、農地中間管理機構と協議すべきことを勧告した農業振興地域内の遊休農地は、固定資産税の課税が強化される場合があります。

●遊休農地とは

①一年以上にわたって耕作されず、今後耕作されないと思込まれる農地

②周辺農地と比べ著しく低利用となっている農地

所有農地の適正な管理をお願いします。

農地への課税軽減制度

所有する農地を農地中間管理機構に貸し付けた場合、条件によっては税法上の優遇措置が受けられる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

■問い合わせ

農業委員会（内線226）

労働

求職者支援訓練 受講者募集

求職者支援制度は、雇用保険を受給できない方などを対象に、職業訓練によるスキル

アップを通じて早期就職を実現するために国が支援する制度です。

今まで働いた経験が少なかったり退職してからのブランクが長かったりして自信がなく不安な方、知識と技能をさらに深めてステップアップしたい方など、まずはハローワークにご相談ください。訓練期間中の生活に不安がある方には、一定要件を満たせば、職業訓練受講給付金が支給されます。

■訓練分野

OA事務（パソコン、簿記など）、Webデザイン、宅建、介護福祉など

■受講料

無料（テキスト代、任意検定料などは自己負担）

■訓練期間

3か月程度

※訓練期間中にはもちろん、訓練終了後も、ハローワークによる就職支援が受けられます。

■申込み・問い合わせ

ハローワーク 荊崎
☎22-1331

※詳細は（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構山梨支部のHPをご覧ください。
<https://www.jeed.or.jp/location/shibuyamanashi/jyu kou.html>

募集

山梨県後期高齢者医療広域連合 川柳作品募集

被保険者の方の後期高齢者医療制度への関心を高めるため、川柳作品を募集します。

■募集内容

「私の宝物」をテーマにした川柳

■応募期間

9月1日（日）～10月31日（木）必着

■応募資格

山梨県後期高齢者医療制度の被保険者の方

■応募方法

郵送（はがき）またはメールアドレス 題名「山梨県後期高齢者医療広域連合川柳応募」

※1人2点まで

■記載事項

作品（川柳）・ペンネーム・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・職業

■申込み・問い合わせ

〒400-8587
甲府市蓬沢1-15-35
山梨県後期高齢者医療広域連合 総務課 総務担当
☎055-2336-5671
kouho@yamanashi-iryoku.ouki.jp

イベント

穂坂自然公園イベント情報

①穂坂ぶどうのジャム作り体験教室

■日時 9月15日（日）

10時～12時

■定員 20名

■申込み 9月1日～14日

■参加費 500円

②燻製作り体験教室

■日時 9月29日（日）

10時～12時

■定員 16名

■参加費 500円

■申込み 9月1日～28日

■申込み・問い合わせ

穂坂自然公園
ふれあいセンター
☎37-4362

敬老月間無料ご招待

荊崎市老人福祉センターは、天然かけ流し温泉やマッサージ機、カラオケなどを備え、高齢者の方々の憩いの場、健康増進の場としてたくさんの方々にご利用いただいています。

9月は敬老の日にちなんで、市内の65歳以上の方を無料でご招待します。8月26日（月）から無料優待券を配付しますので、住所・年齢を確認できるものをお持ちください。

■期間

9月2日（月）～30日（月）

9時30分～16時30分（日曜日、祝日を除く）

※入浴時間 9時30分～15時30分

■問い合わせ

荊崎市老人福祉センター
☎22-6944

第2回 YUMENASU 講座

テーマ「文化」～三枝亭二郎さんの落語を聴く会～

■日時 9月7日（土）

13時から（12時30分受付開始）

■場所 大村智博士生家「瑩雪寮」（神山町鍋山1880）

■定員 25名程度（先着順）

■参加費 1,000円

■申込み YUMENASU（名取）
☎090-6144-7052

●市の人口 8月1日現在		(前月比)	
男	14,701人 (うち外国人249人)	15人	増
女	14,787人 (うち外国人279人)	3人	増
計	29,488人 (うち外国人528人)	18人	増
世帯数	12,689世帯	31	世帯増

●国民健康保険より
8月に荊崎市国民健康保険で支払った額（保険者負担額）は、151,269,163円（前年同月比3.54%増）で、1人あたりの保険者負担額は、22,490円（前年同月比6.83%増）でした。引き続き健康に気をつけ医療費の節約にご協力ください。

★台風シーズンです。危険を感じたら、ただちに「命を守る行動」をとりましょう。

葦崎市議会議員選挙に行こう！

10月9日任期満了による葦崎市議会議員一般選挙を次の日程により執行します。

投票日時 9月29日(日) 7時～20時

投票場所 市内22投票所(郵送される入場券をご確認ください。)

開票

●日時 9月29日(日) 21時～
●会場 市営総合運動場体育館

期日前投票

投票日に仕事や旅行に出かける方、入院予定等の理由で当日投票に行けない方は、期日前投票ができます。

日時

9月23日(月)祝～28日(土)
8時30分～20時

場所

市役所1階 防災会議室

※投票所入場券について

お手元に届いていない場合でも運転免許証等で本人確認をして投票することができます。

★市民交流センター二コリで臨時の期日前投票所を開設します

●日時 9月28日(土)

9時30分～18時

●場所 二コリ1階会議室5

不在者投票

身体に重度の障害がある方や一時的に市外に滞在している方などには、本市投票所に出向かなくても不在者投票をできる制度があります。郵便でやりとりするため時間に要する場合がありますので、なるべく早めにお問い合わせください。

不在者投票のできる病院および施設等に入所している方は、施設に申し出れば投票できます。

選挙公報について

候補者の経歴、政見等を掲載した選挙公報を、選挙期日の前日までに新聞折込により配布します。

また、市役所、市内公共施設等への設置やホームページへの掲載も行う予定です。



立候補をお考えの方へ

●立候補受付(告示日)
●日時 9月22日(日)
8時30分～17時
●会場 市役所別館3階 301会議室

選挙Q&A

Q 他の市町村から転入してきました。葦崎市で投票できますか？

A 葦崎市に住所を定めた(住民票が作成された)日から引き続き3か月以上、本市の住民基本台帳に記録されていることが必要です。

投票立会人募集

市では「投票立会人」を募集しています。特に若い世代の有権者に選挙を身近に感じてもらえるよう、投票環境の雰囲気づくりを行うため、若い世代の方の応募をお待ちしています。

政治家の寄附禁止の対象例

 × 落成式・開店祝などの花輪、葬儀の花輪・供花、病氣見舞いなど	 × お歳暮・お年賀など	 × 結婚祝(※)、香典(※)、卒業祝、入学祝など	 × お祭りへの寄附・差し入れ、町内会の集会・旅行などの催物への寸志・飲食物の差し入れ	 ×
---	---	---	--	--

※政治家本人が結婚披露宴、葬式などに自ら出席してその場で行う場合には、罰則が適用されない場合があります。

次の行為が禁止されています

- 政治家の寄附の禁止**
政治家が選挙区内にある者に対して寄附をすることは、その時期や名義のいかんに関わらず、罰則をもって禁止されています。
また、政治家以外の者が政治家の名義の寄附をすることも罰則をもって禁止されています。
- 政治家に対する寄附の勧誘・要求の禁止**
政治家に対して寄附をしようとする勧誘や要求をすることも禁止されています。政治家を威迫して、あるいは政治家の当選または被選挙権を失わせる目的で勧誘や要求をしようと処罰されます。政治家名義の寄附を求めるとも禁止されており、威迫して求めると処罰されます。
- 政治家の関係団体の寄附の禁止**
政治家が役員や構成員である団体や会社が選挙区内にある者に対して、政治家の氏名を表示したり、氏名が顕推されるような方法で寄附をすることは禁止されており、選挙に関して寄附をしようと処罰されます。
- 政治家の後援団体の寄附の禁止**
政治家の後援団体(いわゆる後援会)が、選挙区内にある者に対して、後援団体の設立目的により行われる行事や事業に関する寄附以外の寄附をしようと、その時期や名義のいかんに関わらず処罰されます。

問い合わせ

市選挙管理委員会事務局
(総務課内 内線3333333)